

かけはし

岩国市立錦中学校だより 第3号

令和元年（2019年）5月16日（木）

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/>

子どもたちに豊かな体験を

校長 秋本 泰宏

5月7日（火）に行われた月頭集会で話した内容です。

時代が、平成から令和へ改元されました。平成から令和の改元にあたり、「平成は〇〇な時代であった」と総括したり、「平成最後の〇〇」や「令和最初の〇〇」といったフレーズなどが報道番組等で飛び交ったりしたゴールデンウィークでした。改元のため、今年のゴールデンウィークは10連休となりました。

10連休前には、『安全な10連休』と、『充実した10連休』となることをお願いしました。

10連休を終えた5月7日には、全員の生徒が元気に登校し、『安全な10連休』は100%達成できたのではないかと思います。

また、『充実した10連休』については、家族で食事をしたり、旅行をしたりしたという人もいたでしょうし、日頃ゆっくり話のできない家族や親戚・友人とゆっくり話をした人もいたでしょう。あるいは、読もうと思ってた小説を一気に読んだなどという人もいたでしょうと話しました。そして、このような体験や経験がなぜ必要かという、時間をかけじっくりと体験したり経験したりしたことは、人間としての幅を広げ、豊かな感性を育むからだと続けました。

さらに、先日の薬物乱用防止教室の際の生徒の鋭い質問例を取り上げ、そもそも中学生の感性はみずみずしく、大人のもてない発想ができるということも付け加えました。

終わりに、翌日から出発する修学旅行や広島研修、自然教室でも貴重な体験をすると思うので、ぜひ、積極的に体験し、感性をしっかりと磨いてほしいと話を結びました。

さて、余談になりますが、先日学校の近くにあるオオサンショウウオの保護施設を見学に行きました。

私の頭の中では、高校の現代国語の教科書に掲載されていた井伏鱒二氏の「山椒魚は悲しんだ」で始まる小説「山椒魚」に出てくるユーモラスなキャラクターをイメージしていましたが、実際に見てみると1m近くある巨体の迫力

にびっくりしました。やはり、本物を見る体験は重要であると改めて実感しました。



5月7日 月頭集会のようす



保護施設のオオサンショウウオ

豊かな体験となった修学旅行・広島研修・自然教室

5月8日（水）から3年生は、2泊3日の関西方面への修学旅行へ、1年生は1泊2日の自然教室へ、そして、5月9日（木）には2年生が広島研修へ出かけていきました。どの生徒も教室から飛び出し、豊かな体験から学び、充実した笑顔で帰ってきました。

○ 3年生修学旅行のようす



東大寺では本物の迫力を感じました



部屋ではリラックス



USJは夢の世界

○ 2年生広島研修のようす



広島駅から研修のスタート

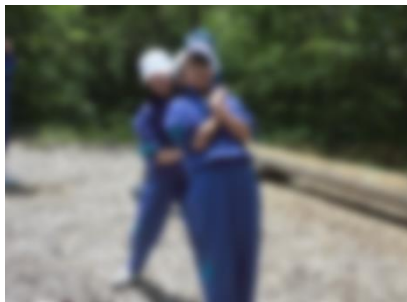


班で協力した広島研修



全員無事平和公園に到着

○ 1年生自然教室のようす



相手を信頼して

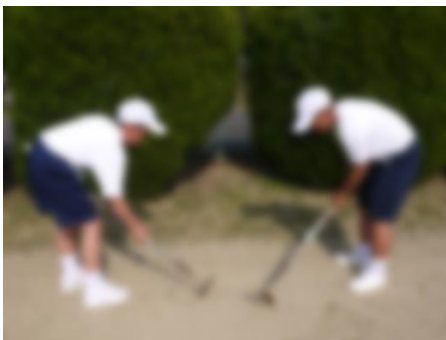


難度の高い課題に挑戦中



研修無事終了！

帽子をかぶって熱中症対策



帽子をかぶって活動

気温がだんだんと上昇し、今年の夏も暑くなりそうです。本年度から、屋外での活動については、熱中症対策として、帽子をかぶって活動します。

1年生については、全員購入しました。2, 3年生については、1年生の時に購入していないので華美でない帽子（キャップ型）を着用します。2, 3年生も希望があれば1年生と同じ帽子の購入を斡旋しておりますので、担任へ申し出てください。

生徒の健康管理のため、ご理解とご協力をお願いします。